

令和5年度

62期生

3年次シラバス

62期生 クラス 学籍番号 氏名

長野県農業協同組合連合会
佐久総合病院看護専門学校

シラバスについて

1. 本校で履修する分野は、基礎分野・専門基礎分野・専門分野ⅠⅡ・統合分野に大別される。
これらの分野に、それぞれ規定の科目・単位・時間数が表記されている。
2. 1年次は主に基礎分野・専門基礎分野・専門分野Ⅰの履修、2年次は主に専門基礎分野・専門分野Ⅱの履修、3年次は主に専門分野Ⅱの臨地実習・統合分野を履修する。
3. 各科目は全て必修科目である。卒業までに3015時間・99単位全てを取得しなければならない。
4. 講義は、時間割とシラバスを確認し臨む。
5. 記載内容は、科目名・講義開始時期・単位数・時間数・担当講師・科目目標・講義回数・主要内容・評価方法・使用テキスト・受講時の注意事項である。
6. 科目の評価は、講義終了後に実施となる。
7. このシラバスは、毎年該当学年のものが配布される。また、卒業後も大切に保管する。

2023年度（62期生・3年次） 試験配点表

2023年4月現在

* 学科試験のみ記載

教育内容	科目名	単位	時間	講師	配点
専門基礎分野	関係法規	1	6	大河原あゆみ	40
			4	院内講師	30
			4	高見澤達明	30
統合分野	看護管理・災害看護	1	16	加藤二三和 院内講師	50
			14	細萱信予	50
	統合演習	1	30	坂本静 他	100
	看護研究2	1	15	鈴木文子	100

科目名	講義開始時期	単位数／講義時間	担当講師
関係法規	3年次後期	1単位／15時間	学内教員 事務課長 医療ソーシャルワーカー
<p>【科目目標】</p> <p>国民の保健医療、福祉に関する法律を学び、法律で規制されている看護師の業務や責任について理解する。</p>			
回数	主要内容	備考	
1～2	第1章 法の概念 第4章 保健衛生法 第9章 労働法と社会基盤整備	事務課長	
3～4	第7章 社会保険法 第8章 福祉法	医療ソーシャルワーカー	
5 6 7	第2章 看護法 第3章 医事法 第5章 薬務法 第6章 環境衛生法 第10章 環境法 試験	学内教員	
評価方法	筆記試験(100点)		
テキスト	医学書院：看護関係法令		
<p>受講時の注意事項</p> <p>1. 事前にテキストを読んで受講してください。</p>			

科目名	講義開始時期	単 位/講義時間	担当講師
看護管理・災害看護	後期	1単位/30時間	認定看護管理者 加藤二三和 DMAT隊員
【科目目標】			
1. 看護の組織と保健医療制度を理解し、看護マネジメントの概念や人材育成が分かり医療チームの一員として看護サービスが提供できる能力を養う。 2. 災害看護の基本的知識を理解し、災害時に必要な医療・看護を学ぶ。			
回数	主 要 内 容	備 考	
1	1. 看護とマネジメント 1) 看護管理とは 2) 看護におけるマネジメント 2. 看護ケアのマネジメント 1) 看護職の機能 2) 安全管理 3) チーム医療 4) 看護業務の実践	認定看護管理者	
2	3. 看護職のキャリアマネジメント 1) キャリア形成 2) 看護専門職としての成長 3) ストレスマネジメント		
3	4. 看護サービスのマネジメント 1) 組織としての看護サービス 4) 人材のマネジメント 2) 組織目的達成のマネジメント 3) 看護サービスの提供の仕組み		
4	5) 施設・設備環境のマネジメント 6) 物品のマネジメント 7) 情報のマネジメント 8) 組織におけるリスクマネジメント 9) サービスの評価		
5	5. マネジメントに必要な知識と技術 1) マネジメントとは 2) 組織とマネジメント 3) リーダーシップとマネジメント		
6	4) 組織の調整 5) 動悸づけの理論 6) エンパワーメント 7) コンフリクト 8) 変化と変革		
7	6. 看護を取り巻く諸制度 1) 看護職とは 2) 医療制度 3) 看護政策と制度		
8	1. 災害看護とは 災害看護の定義 災害と倫理	加藤二三和	
9	2. 災害の種類 災害の種類と被害 災害関連死 災害サイクル		
10	3. 災害医療の政策と法律 国の政策 国の法律		
11	4. 危機管理 防災・減災・レジリエンス 災害事業計画 災害時の組織体制 情報収集と伝達 連携と協働 感染症対策		
12	5. 各発達期及び病期における支援と看護 支援が必要な配慮者～遺族の支援と看護		
13	6. 被災者と支援者の心理の理解と援助 DPAT 看護活動 7. 災害初期から中長期の看護活動 DMATと看護師の役割 看護活動		
14	9. 災害看護と国際看護 国際看護とは 海外における災害看護と国際看護活動 世界で期待される災害看護等		
14	8. 災害時に必要な医療看護技術 CSCATTT トリアージ 講義 トリアージ実技演習 体育館	DMAT隊員 加藤二三和	
15	搬送演習・救急処置 実技演習 体育館		
	試験		
評価方法	筆記試験（看護管理50点 災害看護50点）	授業態度	
テキスト	看護管理（医学書院）	災害看護（MCメディカ出版）	
受講時の注意事項			
1. 事前にテキストを読んで受講してください。			

科目名	講義開始時期	単位数／講義時間	担当講師
統合演習	前期	1単位／30時間	坂本静 他
【科目目標】			
複数科目の知識の統合する能力と、多重課題や集団としてのアプローチに必要な広い知識を統合する能力を養う。演習を通じて看護実践に対応できるアセスメント能力を養う。			
回数	主要内容		備考
1	病歴を聴取する事により、看護の視点でアセスメントが出来る。		講義
2	病歴聴取の実際		演習
3	輸液ポンプ・シリンジポンプを使った与薬		講義
4・5	与薬の演習		演習
6	看護提供方式		講義
7	多職種連携・協働		講義
8	複数患者受け持ちの優先順位		講義
9	交代制勤務と課題		講義
10回～	複数患者の看護 試験		演習
評価方法	筆記試験・授業態度 合計100点		
テキスト			
受講時の注意事項			
1. 事前にテキストを読んで受講してください。			
2. 演習の際に、参加状況・課題提出状況も含めて評価する。			

科目名	講義開始時期	単位数／講義時間	担当講師
看護研究2	後期	1単位／15時間	鈴木文子
【科目目標】			
臨地実習で学んだ看護実践を基本構成に沿って看護研究（ケーススタディ）とまとめて発表する。また、さまざまな発表を通し科学的に思考できる能力を養い、自己の看護を深めるために学ぶ。			
回数	主要内容		備考
1	さまざま倫理① 看護倫理、看護研究倫理、生命倫理等		
2	さまざま倫理② 看護倫理、看護研究倫理、生命倫理等		
3	学校内（学年内）でのケーススタディの発表と聴講① 発表とクリティークの実施		
4	学校内（学年内）でのケーススタディの発表と聴講② 発表とクリティークの実施		
5	校内（代表）での看護研究発表会での発表と聴講① （発表と）クリティークの実施		
6	校内（代表）での看護研究発表会での発表と聴講② （発表と）クリティークの実施		
7	長野県看護研究発表会への参加と発表のクリティーク		
	試験		
評価方法	抄録作成・提出・発表：40点、筆記試験：30点、クリティーク提出と出欠席：30点		
テキスト	看護のためのわかりやすいケーススタディの進め方 照林社		
受講時の注意事項			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 発表の準備、聴講の準備を整え、発表会に参加しましょう。 2. 積極的にグループワークや演習に参加しましょう。 3. 提出物の期限は守りましょう。 			